

## 東川スタイル×大崎システム 日本と世界の未来を育む「リサイクル留学生プロジェクト」発足 — 慶應義塾大学 SFC 研究所の助言のもとで、北と南の2つの町が協働で、 社会課題に挑戦するグローバルな人材育成に挑戦します—

11月27日、東川町（北海道、町長：松岡市郎）、大崎町（鹿児島県、町長：東靖弘）、慶應義塾大学 SFC 研究所（所長：田中浩也、担当：社会イノベーション・ラボ（代表：玉村雅敏）。以下、SFC 研究所）は、「日本と世界の未来を育む『リサイクル留学生プロジェクト』の研究開発と推進に関する協定」を締結します。同日、慶應義塾大学三田キャンパス（東京都港区）にて、協定書の調印式ならびに記者会見を行います。

本協定のもと、SDGs（持続可能な開発目標）の実現に寄与する社会システム構築と人材育成を推進します。

### 1. 協定の概要

#### （主旨と目的）

写真文化首都として、潤いと活力のあるまちづくりに取り組み、人びとが影響し合い「東川スタイル」を共創し続けてきた東川町と、住民力と自治体職員の力を発揮し、焼却に頼らず徹底した分別による低コストのごみ処理方式である「大崎システム」により「リサイクル率11年連続日本一の町」を実現してきた大崎町、「未来を先導する実学と人材育成」を行ってきた SFC 研究所の連携により、日本と世界の未来を育む「リサイクル留学生プロジェクト」の研究開発と推進を行い、日本さらにはグローバルに未来を先導する社会システム構築と人材育成を推進します。

その一環として、慶應義塾大学 SFC 研究所に設置する社会イノベーション・ラボの助言のもと、北と南の2つの町が協働し、日本初で唯一の「公立日本語学校」を営む北海道東川町にて日本語教育を行い、その後、鹿児島県大崎町において、日本一の資源リサイクルシステムの研修を行い、持続可能な社会の形成およびグローバルに活躍する人材育成に取り組みます。

#### （連携事項）

三者は、前項の主旨と目的を達成するために、次の事項について連携し、協力します。

- （1）地方創生、地域活性化、グローバル戦略、未来戦略、SDGs の実現に関すること。
- （2）日本と世界の未来を育む「リサイクル留学生プロジェクト」の研究開発・推進・普及に関すること。
- （3）地方創生や地域おこし、社会イノベーションを担う人材の育成と交流に関すること。
- （4）三者の知的、人的および物的資源の活用に関すること。
- （5）その他、本協定の目的を達成するために必要な事項。



### 2. 協定書の調印式、記者会見

日 時： 2018年11月27日（火）13:30～ ※調印式の後、記者会見を行います。

場 所： 慶應義塾大学三田キャンパス「三田インフォメーションプラザ」2階会議室（参考1）

出席者： 東川町 松岡 市郎（東川町長）  
大崎町 東 靖弘（大崎町長）  
慶應義塾大学 玉村 雅敏（総合政策学部教授） ほか

### 3. 参考資料：日本と世界の未来を育む「リサイクル留学生プロジェクト」チラシ（添付）

Web サイト <https://www.higashikawa-osaki.jp/>（11/27公開）※ 東川町・大崎町作成

## (参考1) 協定書の調印式、記者会見の予定会場

慶應義塾大学三田キャンパス「三田インフォメーションプラザ」2階会議室  
(東京都港区三田2丁目15-45)

※ 正門西側ガラス張りの2階建ての建物。正門の外(桜田通り沿い)に入口があります。正門に入らずに大通り沿いを西側に進み、建物内のエレベーターで2階にお越し下さい。



### <三田キャンパスへの交通アクセス>

田町駅 (JR山手線/JR京浜東北線) 徒歩8分

三田駅 (都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線) 徒歩7分

赤羽橋駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩8分



※本プレスリリースは、新聞各社社会部等に配信しております。

### <問合せ先>

■東川町 東川スタイル課 (担当: 平田・柳澤)

電話: 0166-73-4666、E-Mail: [brand@town.higashikawa.hokkaido.jp](mailto:brand@town.higashikawa.hokkaido.jp)

■大崎町 企画調整課 (担当: 竹原・宮下)

電話: 099-476-1111、E-Mail: [mati@town.kagoshima-osaki.lg.jp](mailto:mati@town.kagoshima-osaki.lg.jp)

■慶應義塾大学 SFC 研究所 社会イノベーション・ラボ (担当: 稲垣・菅井)

電話: 03-4590-0444、E-Mail: [si-lab@sfc.keio.ac.jp](mailto:si-lab@sfc.keio.ac.jp)

(配信元: 慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当 E-Mail: [kri-pr@sfc.keio.ac.jp](mailto:kri-pr@sfc.keio.ac.jp))

# 日本と世界の未来を育む リサイクル留学生プロジェクト

東川スタイル × 大崎システム

## プロジェクト概要

いま、地球規模でゴミ問題が深刻化しています。処理できないゴミの山が環境を汚染し、そこで暮らすたくさんの人々が苦しんでいます。

このプロジェクトでは、北の北海道東川町と、南の鹿児島県大崎町の2つの町が連携し、それぞれの町が異なる分野でこれまで培ってきた知識・経験を提供し合い協働することで、日本の社会とつながりながら、世界各地で直面する資源リサイクル問題に挑戦する、グローバルに活躍する人材の育成に取り組みます。

ひとりでも多くの方にこのプロジェクトを知っていただき、ご支援いただくことで、共に未来を育んでいきたいと考えています。

### 北海道東川町

日本初で唯一の公立日本語学校



### 世界から留学生を受け入れ

日本語や社会・文化を学び、日本の社会とともに未来を育む人材を育成



### 鹿児島県大崎町

リサイクル率日本一の技術

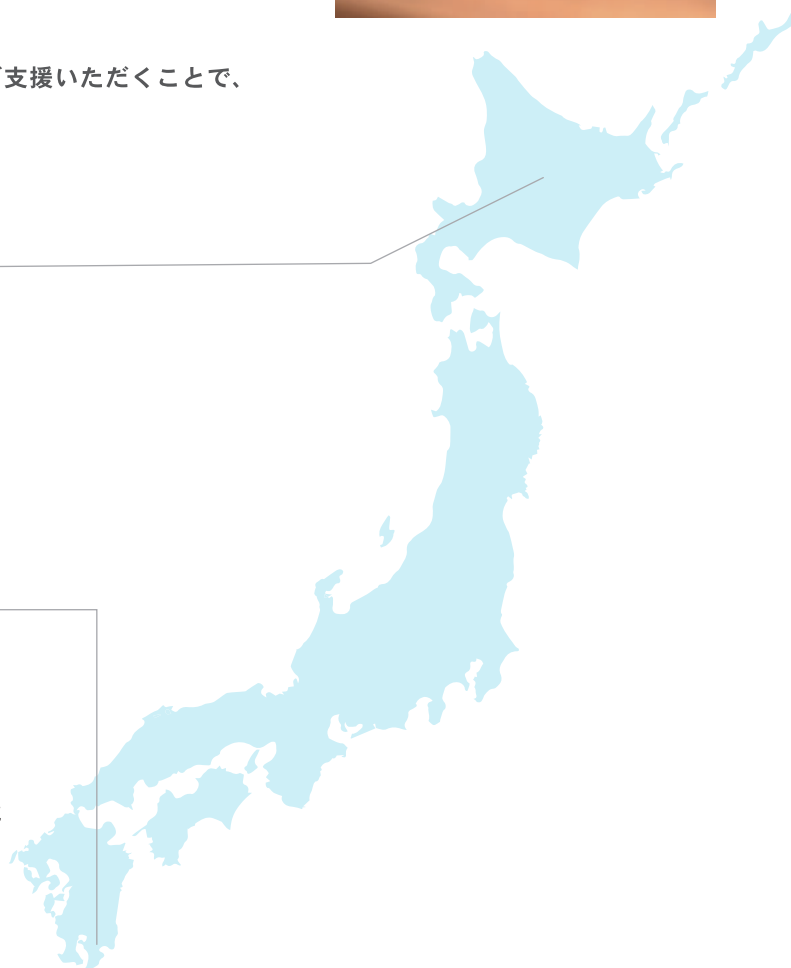


### 東川日本語学校からの留学生を受け入れ

日本一のリサイクル技術を学び、世界各地の現場で未来を育む人材を育成



日本の社会とつながりながら、  
世界各地で直面する資源リサイクル問題に挑戦する、  
グローバルに活躍する人材を育成





## 北海道東川町

北海道のほぼ中央に位置する人口約 8,000 人の町。  
1985 年に、世界にも類のない「写真の町」宣言をし、  
文化によるまちづくりを行っています。  
世界中の「人」と「文化」が出会い、世界中が笑顔に  
溢れる写真文化首都の創生を目指しています。

スタンダード

## 人口 8000 人のまちが共創する未来の価値基準 「東川スタイル」

東川町は、国内外からの定住者が増え、過去 20 年間で人口が約 20% 増加。  
さらには、日本初で唯一の公立日本語学校などの開設により、留学生を  
はじめとした新たな人の流れが生まれています。また、人口 8,000 人の  
まちには 60 以上の個性的な店舗が点在し、カフェ、飲食店、ベーカリー、  
ショップ、工房などが営まれています。このライフスタイルに合わせた  
無理のない働き方。そして、多様な人びとが影響しあい共創しながら育まれた  
価値基準である「東川スタイル」。これからの社会を予見する未来の  
価値基準として注目されています。

## 日本一のリサイクルのまちが世界に輸出する環境技術 「大崎システム」

大崎町には一般ごみ焼却施設がなく、『混ぜればごみ、分ければ資源』の  
意識のもと、27 品目を分別回収して、ごみの再資源化に努めており、ごみの  
リサイクル率 11 年連続日本一を達成。そのリサイクル率は 80% を越え、  
全国平均の約 20% を大きく上回っています。また、その技術を世界に向けて  
輸出しており、インドネシアのデポック市やバリ州などのごみ減量化・資源化  
など、国境を越えごみの減量化に取り組む協力を行っています。



## 鹿児島県大崎町

大崎町は九州の南に位置する、人口約 13,000 人の町。  
住民力と自治体職員の力を発揮して、焼却に頼らない、徹底した分別による  
低コストのごみ処理方式である「大崎システム」を構築して、  
「リサイクル率 11 年連続日本一の町」を実現しました。  
また、温暖な気候と溢れる湧水で育む農畜産物は、生産量も国内最大級であり、  
より高い品質を求め常に挑戦し続けています。

## 支援の方法

東川町と大崎町の連携による本プロジェクトを実現させるべく、ふるさと納税による  
みなさまのご協力を募っています。いただいた寄付は、留学生の受入や研修プログラム  
に関する費用の一部に活用いたします。

**目標金額 2,500,000 円 | 募集期限 平成 31 年 1 月 31 日まで**

本プロジェクトへのご支援は、ふるさと納税で 10,000 円からとなります。  
ご支援いただいた方には、東川町 × 大崎町の **コラボセット** をお届けいたします。

※本プロジェクトへの寄付の受付は、鹿児島県大崎町が行います。

### ふるさと納税について

ふるさと納税は実質負担 2,000 円で日本各地の自治  
体を支援し、返礼品を受け取ったり、各自治体が発  
施する様々な事業に参加することができる制度です。  
寄附した金額のうち 2,000 円を越える部分は所得税  
と住民税から控除されます。

### セット内容



#### 大雪旭岳湧水 500ml

大雪山の雪解け水が長い年月をかけて大地にしみ  
込み、ミネラルをたっぷり吸収してきた天然水  
です。(東川米を炊く水としてお使いください)



#### 特A・東川米「ななつぼし」無洗米 420g

水が豊かな東川町でつくられた東川米「ななつぼし」  
は北海道を代表するお米です。つや、粘り、甘みの  
バランスが抜群で、冷めてもおいしさが長持ちします。



#### 鹿児島県産うなぎ長蒲焼 1尾

こつこつと生産者が築き上げたブランド『鹿児島県  
大隅産鰻』。大崎町は温暖な気候と水質のよい地下  
水が豊富な国内有数の鰻の産地です。高品質で、  
安心安全な「国産 おおさき鰻」です。



「東川米」と「おおさき鰻」で  
是非、鰻丼としてご賞味ください。

### お問合せ

本プロジェクトやふるさと納税に関するご質問は、  
東川町・大崎町の各担当部署にお問い合わせ下さい。

#### 東川町 東川スタイル課

TEL: 0166-73-4666

#### 大崎町 企画調整課

TEL: 099-476-1111

プロジェクトホームページ  
<https://www.higashikawa-osaki.jp>